

Library

町生涯学習センター図書室からの12月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

日本一の城を作った男の物語

伊東 潤 著 / 『もっこすの城 熊本築城始末』



KADOKAWA

小説

織田信長の家臣・木村忠範は自らが造った安土城で討ち死にを遂げた。嫡男の藤九郎は、肥後半島の領主となった加藤清正のもとに仕官を願い出る。「最強の城を造れ」と清正に命じられ…。実力派歴史作家が描く、日本一の城を造った男の物語。様々な試練を乗り越えた先に、壮大な姿の熊本城が浮かび上がり、胸が熱くなる1冊です。

あたたかなクリスマスのお話

ユーヴァル・ゾマー 作 / 『もりのおくのクリスマスツリー』



ほるぶ出版

児童書

ぼくは、いっぽんの木。ひとりぼっちになったぼくは、ぶるぶる震えていた。夜の闇に向かって「だ、だれがいる？」と呼びかけるけど…。一度見たら忘れられない、季節がめぐる森の情景。いきいきとした動物たち。森のいきものたちの声が聞こえてくる、あたたかなクリスマスのお話。読み聞かせにおすすめの絵本です。

認知症になった認知症専門医の言葉

長谷川 和夫 著 / 『認知症でも心は豊かに生きている』



中央法規出版

一般書

私たちは認知症にどう向き合えばよいのか？ 介護に大切な3つのスキルとは？ 誰もが生きやすい社会とは？ 認知症の第一人者であり、3年前に自らも認知症であることを明かした著者が、100の言葉で私たちの不安に応えます。「みんな違って、みんな尊い」穏やかに綴られる言葉の一つ一つが、前向きに生きる力を与えてくれます。

ベテラン料理家のマイペースなライフスタイル

村上 祥子 著 / 『料理家 村上祥子78歳のひとり暮らし』



集英社

教養娯楽

キャリア50年のベテラン料理家・村上祥子。自分がシニアになって「食べること」の大切さを改めて実感し、マイペースなひとり暮らしの日々や深い考え、普段の食事の工夫を綴った1冊。話題になったレシピ、電子レンジや冷凍食材をフル活用した簡単レシピも収録。生涯現役の元気の秘密を紹介しています。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私 がご紹介する本は、辻村深月さんの「朝が来る」です。今年10月23日公開の同名の映画の原作小説になります。

この作品はミステリー小説なのですがテーマはヒューマンドラマです。不妊治療の末に選んだ特別養子縁組で出会った子供から「母親とは」「家族とは」「日常の当たり前とは」何なのかを考えさせられる物語です。

今月の案内人



白石 恵介さん
(町福祉課)

辻村深月さんの作品は陽と陰、光と影の描写がとても巧く構成されていて、台詞の本質を表すこと

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『朝が来る』(辻村 深月 著)

長く辛い不妊治療の末、特別養子縁組という手段を選んだ栗原清和・佐都子夫婦。平和な日々を過ごしていたある日、夫妻のもとに電話が、それは息子を「返してほしい」というものだったー

にすごく長けていると思います。読んだ人それぞれの立場に置き換え考えることが出来、衝撃的な展開や葛藤、共感する場面に心情を揺さぶられます。読み終わった後には作品名の本当の意味がわかり、読後感の良い小説です。

『揺れるいのち 赤ちゃんポストからのメッセージ』(旬報社出版/熊本日日新聞「このよりのゆりかご」取材班 編)が

参考資料として扱われた作品で、多くの人に是非読んでほしい作品です。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？

町生涯学習センター図書室

TEL 096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 町公民館主催講座のご案内

正月飾り「スワッグ」作りを開催します

お正月飾りのしめ縄として楽しめる「スワッグ」作りに挑戦してみませんか。参加者は、花バサミをご準備ください。

●開催日時

11月22日(火) 午前10時～正午

●会場

町農業研修センター「ろくじ館」

●講師

村上光治さん(下豊内区)

●材料費

1500円

●定員

15人程度

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館自主講座⑭ 「ストレッチヨガ」

健康で豊かな生き方を応援するため町公民館が実施する「公民館自主講座」についてご紹介しています。



▲参加者といっしょに体を動かす講師の徳永さん(中央)

スポーツ・健康「ストレッチヨガ」講座では、現在8人が無理のない体勢で深い呼吸とともに体を伸ばし、固くなってしまった筋肉をほぐすヨガを行っています。

ヨガを通して血行を良くし、心身をリラックスさせましょう。

▼代表 徳永小巻さん(芝原区)

▼開催場所

町生涯学習センター・研修室

▼開催日時

毎週水曜日 午前10時～午前11時30分

町公民館自主講座⑮ 「3B体操」

スポーツ・健康「3B体操」講座では、誰でも無理なく楽しむことができる健康づくりに取り組んでいきます。

3B体操では、ゴム製の「ボール」やクッション性のある「ベル」、伸び縮みする「ベルダー」を使って、生活

習慣病やロコモ(寝たきりを引き起こす運動器の病気の予防に効果的な有酸素運動やバランス機能改善運動を行います。より健康な体づくりを目指しませんか。



▲2つの輪が繋がった「ベル」を使って体操する参加者

▼講師 荒巻美智子さん(大津町)

▼開催場所

町生涯学習センター・ホール

▼開催日時

毎週土曜日 午後9時30分～午後8時

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■町生涯学習センター・図書室 「人権コーナー」の紹介

熊町生涯学習センター図書室では、約150冊の「人権に関する本」を展示しています。

今回はその中から数冊をご紹介します。ぜひ足を運んでみてください。

- 「わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。」(久保田恭代・寺田聡子・奈良崎文乃・プラン・ジャパン 著/合同出版)

みなさんは「女の子に生まれてきて、よかった」、「男の子に生まれてきて、よかった」そんなことを感

じたことはありませんか。

いまの日本では日常生活で性別による差別を感じることはそんなにはないかもしれませんが。

しかし世界を見渡すと性別によって人生を大きく左右されてしまう子どもたちがたくさんいます。この本は世界から届いた女の子の物語です。

- 「橋はかかる」(村崎太郎・栗原美和子 著/ポプラ社出版)

「ならば結婚します」この一言は、生まれて初めて私に差別されないことの喜びを与えてくれた。「人の傷みを知っている人は人を傷つけるよ

うなことはしない。部落出身という生き立ちを持っているあなただから、きっと弱さと強さの両方を痛いほど知っているだろう。私はそういう人と出会うのを持っていたんです」と。被差別部落出身であることを公表した村崎太郎と一般的な家庭に育った栗原美和子。悪戦苦闘の3年間、少しずつみえてきた希望の橋。著者は「率直な対話のなかに、この本は生まれた」と語っています。

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)